

令和3年度 第1回大農事組合長会議次第

日時・場所 《 令和3年5月19日(水) 20日(木) 》

19日:	鞍手地区	鞍手支所	10:00
	: 宮田地区	宮田支所	13:30
	: 若宮地区	若宮支所	18:30
20日:	直方・小竹地区	本所	10:00

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 地域水田農業推進協議会からの連絡
(地域農業再生協議会)

2. 行政からの連絡

3. 営農生活課からの連絡

(1) 農事組合長の年間スケジュールについて . . . P1

(2) 水稻の移植及びジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)対策について . . . P2

(3) JA直鞍ブロックリー契約栽培の概要について . . . P4

(4) JA直鞍土づくり推進運動について . . . P6

(5) 農作業機械シーズン前セルフメンテナンス及び農作業安全対策について . . P8

(6) 農薬散布における安全使用について . . . P9

(7) 無人ヘリ防除散布規定に基づく同意申し込みについて (宮若地区のみ) . . P10

4. 総務課からの連絡

(1) 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画等について別冊

5. その他

【4】閉会のことば

【提出書類】 《提出先 各グリーンセンター・各支所・営農センター》

◎ ブロックリー作付け申込書

◎ 無人ヘリ防除散布規定に基づく同意申込書(宮若地区のみ)

提出締切日 : 令和 3年 6月 4日(金)

【1】

大農事組合長の年間スケジュールについて

1. 年間行事

年 月	会議・研修会(予定)	主な会議内容及び配布物
令和3年 4月		J Aだより
5月	大農事組合長会議	会議等年間計画、総代会資料 へり防除の申込(宮若地区) J Aだより
6月		J Aだより 総代会資料
7月		出荷用紙袋注文 J Aだより
8月		春馬铃薯種子、玉ねぎ苗・甘藍苗注文 J Aだより 米の集荷案内
9月	大農事組合長会議	米の概算金、賦課金の徴収 春馬铃薯の注文 J Aだより
10月		J Aだより
11月		J Aだより
12月	大農事組合長会議	米の集荷実績、次年度米生産調整目標 水稻肥料・農薬等の注文 J Aだより カレンダー
令和4年 1月		J Aだより 稲作ごよみ
2月		J Aだより
3月		夏野菜苗注文 農事組合長交代届け J Aだより

2. 農事組合長手当

大農事組合長	20,000円 + (1,000円 × 小農事組合数)
小農事組合長	1,000円 × J Aだより配布数

●支払日 : 令和3年12月(予定)

●支払方法 : 口座振込

普通期水稻の移植について

令和3年5月10日
直鞍農業協同組合

1. 品質の良い米づくりは健全な苗づくりから！

近年、育苗期にいもち病やもみ枯細菌病の発生が増加しています。菌を本田に持ち込まないよう、育苗期から対策を徹底しましょう。

【いもち病対策】

- ・塩水選及び種子消毒の徹底。
- ・育苗箱かん注処理や箱施薬など、育苗期防除の実施。
- ・置き苗の除去（いもち病の発生源になるため）。
- ・本田では多肥栽培を避け、ケイ酸質資材を施用する。

【もみ枯細菌病対策】

- ・塩水選や種子消毒の徹底。
- ・出芽期～緑化期の高温多湿（32℃以上）を避ける。

2. 水稻は適期に移植しましょう！

令和2年産の水稻うるち米の1等比率は全国で最低です。収量、品質向上のため、水稻の移植は以下の適期に行いましょう。

品種	移植適期（平坦地の場合）
夢つくし	6月5日～
元気つくし	6月10日以降（6月中旬が望ましい）
ヒノヒカリ	6月15日以降
実りつくし	6月15日以降

適期より早く移植すると・・・

① 検査等級や収量が低下します。

（登熟期間が高温に当たり、白未熟粒や充実不足粒が発生するため）
※ 高温耐性品種の「元気つくし」でも早植えにより検査等級や収量が低下します。

② 縞葉枯病が多発しやすく、被害が大きくなります。

3. トビロウカの対策を徹底しましょう！

- ・トビロウカによる坪枯れが多発し、収量低下の大きな原因となりました。
- ①箱施薬剤には、必ずゼクサロン（トリフルメソピリム）成分を含んだ薬剤を使用。
- ②箱施薬剤は、必ず1箱当たり50gを遵守する。
- ③育苗箱処理後に軽く散水し、育苗培土に薬剤をしっかり落ち着かせる。
- ④疎植栽培では、10a当たりの処理量が減少することから、極端な疎植（坪50株未満）は避ける。

4. 前年夏作が大豆後作や地力の高いほ場は基肥を減らしましょう！

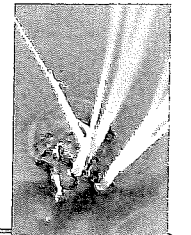
- ・前年夏に大豆を作付けしたほ場では、水稻の生育が旺盛となり、倒伏等による収量低下が見受けられます。
- ・生育過剰による倒伏を防ぐため、10a当りの基肥量を基準より窒素成分で2～3kg程度（基肥料を10～15kg程度減らす。）

令和3年5月10日
飯塚普及指導センター
JA直鞍 普通作担当

参考資料

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

スクミリンゴガイの対策についてお知らせいたします。
水温が15℃以上になると食害を開始するので注意して下さい。



1. どんどん増える理由<生態>

スクミリンゴガイは、水田内、用排水路などで越冬します。
産卵は4月～10月頃まで続きます。メスは一生に3,000個以上の卵を産みます。
卵は夏季には10日～2週間でふ化します。ふ化した稚貝は、春～夏期には50～60日で産卵が可能となります。

2. 水稻への被害

スクミリンゴガイは雑食性で、ほとんどすべての水生植物を食べます。
水稻への被害は、貝高2cm以上の大きな貝の発生量が多いほど、また、水深が深いほど大きくなります。



スクミリンゴガイの食害による欠株

3. 冬季の対策

- ①極寒期(1～2月)にほ場を耕起し、土中の越冬貝を寒気にさらす。
※1 耕起深度を浅く、ロータリ回転数を上げて細かく碎土すること。
※2 小さい貝を他のほ場に持ち込まないために、ロータリやタイヤを良く洗うこと。
- ②用水路の越冬貝対策として、水路等の清掃を行うこと。

4. 田植前の対策 =石灰窒素の利用=

- ・水田を荒起こしして、深さ3～4cm程度水を入れ、3～4日放置する。
- ・石灰窒素20kg～30kg/10aをムラなく散布し、そのまま3～4日放置する。（湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしないこと）
- ・代かきを行い2～3日おいて田植えを行う。（石灰窒素を含んだ水は水路に流さない。）
- ① ベスト4・4・4を基肥で40kg入れた場合 ……窒素成分で(5.6%)
- ② タニシ対策で石灰窒素を20kg入れた場合 ……窒素成分で(4.0%)
※ この場合、不足分の窒素(1.6%) ベスト4・4・4で10kg投入する
- 《注意》 石灰窒素は、化学肥料でスクミリンゴガイ対策に使うと農薬扱いになります。
エコ認証米、減々米(わざあり米)には使用できません。

5. 田植え時期の対策

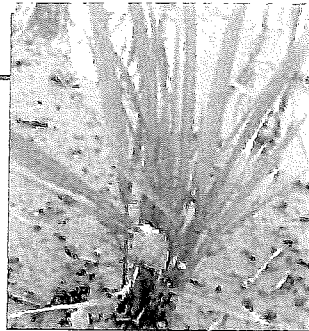
①物理的防除

1) 生貝の捕殺(移植2週間後まで定期的に捕殺)
 ※野菜くず、少し硬めのタケノコを畦畔沿いに置き
 誘因すると食害が軽減されるとともに捕殺しやすい。

2) 卵塊の圧殺(卵をつぶす)

3) 侵入防止網を設置

水口に侵入防止網を取り付け、水路からの新たな貝の侵入を防ぐ
 網目は9mm程度。網にゴミ等が詰まることがあるので注意する。



スクミリンゴガイの卵塊

ほ場の均平と浅水管理がポイント！

②耕種的防除

スクミリンゴガイが、水稻に大きな被害を及ぼすのは田植え後約3週間まで。

1) 浅水管理

田植直後～田植え後3週間の間は、ごく浅く湛水を行う(ただし、除草剤の処理時～4日間程度を除く)水深は1cm以下が理想。
 ※ほ場が凸凹だと深いところの株が食害されるので、田植え前にほ場の高低を出来るだけなくしておくこと。

③農薬による防除

スクミリンゴガイの発生が多い場合は、田植え後すぐに薬剤防除を行う。

●スクミリンゴガイ対策の薬剤 ※わざわざ米は、スクミベイト3のみ使えます。

区分	名称	10a当たり 使用量	使用時期	使用方法	備考
わざわざ米 慣行栽培米 飼料用米等	スクミベイト3	2～4kg	移植後、発生時	湛水散布	化学農薬成分に カウント無
慣行栽培米 飼料用米等	スクミノン	1～4kg	移植後、但し収 穫60日前まで	湛水散布	

水口、水深が深いところ、ほ場の周囲等タニシの集まるところへのスポット処理も有効です！

6. 田畑輪換

大豆等の畑作物を栽培すると、スクミリンゴガイの密度は著しく低下します。
 ただし、1年の転作では貝は絶滅まではしていません。

7. 天敵

日本の河川では、スクミリンゴガイが小さいうちは、魚、ゲンゴロウ、ヤゴ、カニ、エビ等が捕食し、大きな貝になるとカメ類、コイ、アイガモ等が捕食します。

このような生物が減ってしまったことも、スクミリンゴガイが水田で増殖しやすい一因です。

8. スクミリンゴガイを利用した除草の注意点

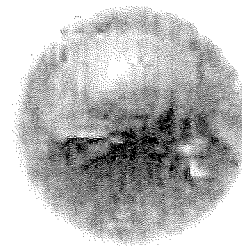
スクミリンゴガイを水田雑草の除草に用いる農家があります。

しかし、もとは水稻やレンコンなど農作物を食い荒らす有害動物です。周囲の水路や水田に侵入しない対策や水管理等によるコントロールが難しいうえ、雑草がなくなれば水稻を加害してしまいます。

9. 椿油粕の問題点

※椿油粕は肥料であり、農薬として使用することは禁止されています。

魚毒性が強く、水田の生物を殺すと同時に、河川に流れると魚類が死んでしまいます。周囲の環境への影響が大きいため、椿油粕の使用はしないでください。



スクミリンゴガイは、大変乾燥に強い生物です。水が少なくなると土の中に浅く潜ります。土の中では半年以上水がなくても生き延びることができます。

[3]

JA 直鞍ブロッコリー契約栽培の概要について

1. 目的

生産者の規模拡大を念頭に野菜産地作りに取り組む特別作付推進品目として、ブロッコリーを推進しています。理由として、ブロッコリーは消費者に人気が高く又、販売先も確保され安定的な価格で買い取りが可能な事とコンテナ出荷により労力とコスト面を省く事により面積拡大、所得向上が見込まれます。

2. 作付誘導目標

項目	令和1年	令和2年計画	令和2年実績	令和3年計画
栽培面積 (a)	60	800	807	1000
収穫量 (t)	4	72	47.9	90
販売金額	103万円	1,800万円	1,092万円	2,250万円

3. 栽培概要

ブロッコリー栽培を取組む中で、ほ場準備や定植、防除作業などがありますが、最も労働力が必要になる時期が収穫、調整作業の時期になります。家族の協力や雇用などの労働力が必要になってきます。労働力の確保と下記の内容を注意して栽培をお願いします。

(1) 生産調整（作型）および品種選定

ブロッコリーは水田の裏作も可能です！（ただし、高収量、高品質栽培のためには排水対策等が必要です。）

品種 播種～収穫日数	播種期	定植期	収穫期	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おはよう 95日前後	8/5~8/31	9/5~9/30	11/中~1/上	○	○	△	△				
こんちは 105~110日	8/5~8/25	9/5~9/25	11/下~1/下	○	○	△	△				
グランドム 115~130日	8/5~8/31	9/5~9/30	12/上~1/下	○	○	△	△				
彩麟 120~130日前後	8/10~8/31	9/10~9/30	12/下~2/下	○	○	△	△				
ともえ 145日前後	8/20~9/10	9/20~10/10	1/中~3/上		○	○	△	△			
クリア 145日前後	8/20~9/15	9/20~9/30	1/中~3/上		○		△				

○：は種 △：定植 □：収穫

(2) 播種および育苗

- ① 生産者対応または、JA 全農ふくれん育苗センターへの委託
- ② 地区別に指導体制を確立する（普及指導C、JA、篤農家等）。

(3) 圃場準備および定植

- ① 土づくり対策として、アグリ健康堆肥散布
- ② 水田後作については、稲株や稲わら等がある事から耕耘作業をしっかり行う。
- ③ 排水の良いほ場が確保できない場合、下記の整備を行う
 - ・ほ場の排水性改良のため、ほ場の周囲に溝掘機によって額縁明渠を掘る。
 - ・サブソイラやプラソイラを用いて、土壌の透水性や通気性を向上させる。
- ④ 適湿の時に耕起し、活着の良いほ場作りをしておく。
 - ・施肥は品種・作型に合わせて行う。基肥が多いと品質低下や腐敗性病害が多くなる。
 - ・10月以降の定植では、適期が遅れると極端に生育が悪くなる。
 - ・活着促進のため、定植後1~2週間は乾燥させないように灌水する。

(4) 防除作業（生産者対応を原則とする。）

- ① チョウ目害虫が、発生しやすいので発生初期に防除を行う。
- ② 曇天や降雨が続く時は、病気が発生しやすいので徹底して予防散布を行う。

(5) 雑草対策の徹底

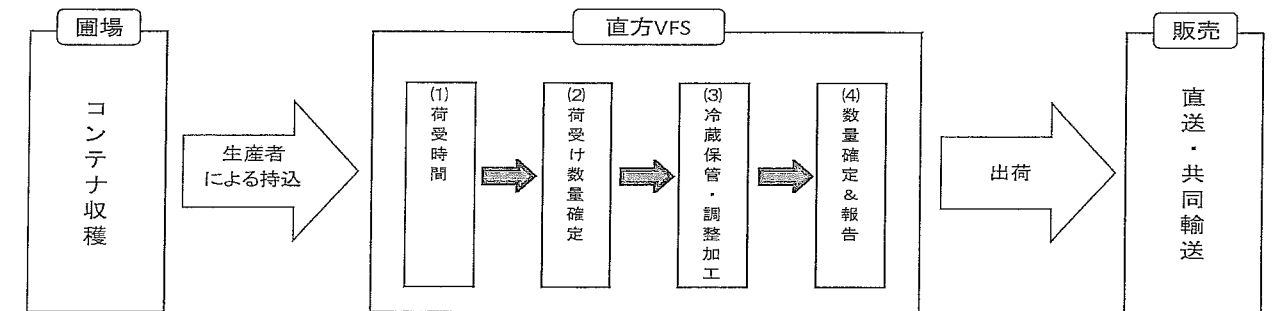
- ① 中耕や土寄せ等の除草対策を行う。
- ② 畝溝に雑草が発生した場合は、除草剤を散布する。

(6) 連作を避け輪作ローテーション等を行って根こぶ病の対策を行う。

(7) 今後の日程について

- ① 生産販売反省及び育苗講習会 令和3年6月中下旬
- ② 種子・肥料注文取りまとめ 令和3年7月中旬+
- ③ 中間管理講習会 令和3年10月上旬
- ④ 出荷計画取りまとめ 令和3年10月上旬
- ⑤ VF 出荷内容説明 令和3年10月下旬・令和3年11月下旬
- ⑥ 現地巡回（JA・普及所・ふくれん） 8月~4月（1ヶ月1回を目安に行う）

4. 荷受・販売体制について



(1) 収穫選果作業

- ① 収穫基準については、県基準に準ずるものとする。
- ② 収穫作業については、貸コンテナを利用する。※紛失時は1,500円/個を徴収致す。
- ③ 選果選別については、A・B品を分ける必要はありません
- ④ 適期収穫の徹底が必要で、気温高いと生育スピードが早く収穫適期が短いので十分注意する。

見本

令和3年産 ブロッコリー作付予定者申込書

令和3年産のブロッコリー「JA 専用圃場」の作付希望者を下記の内容により受付を致しますので回覧のうえ、申込書の提出をよろしくお願い致します。

記

農事組合名

農事組合長名

印

申込者名簿

No.	氏名	電話番号	住所
1			
2			
3			
4			
5			

提出期限 : 令和3年6月4日(金)

提出先 : 営農センター又は、各事業所へお願い致します。

(2) 出荷・荷受体制

- ① 県北地区広域販売センターへ持込みを行う。
- ② 荷受け時間 直方VFS荷受け 9:00~11:30(当日収穫・出荷・荷受を前提とする)
- ③ 荷受け数量確定
集荷場所にて本会専用内部通いコンテナに入れ替え後、荷受け伝票にコンテナ数量を明記し、双方保管する。
- ④ 冷蔵保管および調整加工(基本当日収穫分は当日調整加工とする。)
- ⑤ 数量確定(調整加工後実績確定)
調整後、当該株数を確定し、調整加工一覧表を生産者へFAXまたはメールする。
※規格落ちC品は原則廃棄する。

(3) 販売体制

- ① 価格固定での買取り販売
- ② 買取り価格(概算払)の考え方
 1. A品(2L~L)に対し、シーズンを通じた価格50円(税込)/株
 2. A品(M)に対し、シーズンを通じた価格40円(税込)/株
 3. B品:価格は、100g当たり8円(税込)
※B品からの規格落ちについては基本廃棄処理とする。

5. 各レンタル助成

- ① 播種機については、2台用意する。
- ② 定植機レンタル
 - ・定植機は、JA直轄で2台用意する。(別途全農ふくれんより2台)
 - ・レンタル料として、5,000円(10a当り)
 - ・運搬、清掃等については別途提示する。

(問合せ先)

JA直轄 営農センター

担当 大久保・中村

TEL 0949-32-3755